

ノ頃、種ヲ呂宋ニ得タリト云フ。海内ニ普及セリ甘藷ハ素ト慶長

第十二 臆病の連歌師。

卜部兼好

奥山よねこまたと云ふ者ありて、人を餓ふあると、人の云ひひらるに、山あらねども、おまらふも、猫の經上りてねおまたふなりて、人どることは、あるものをと、云ふものありけるを、何阿彌陀佛とかや、連歌しける法師の、行願寺のほとりよ何りけるが、聞きて獨りありかん身い心すべき事

よこそと思ひける、頃も或所にて、夜更くるまで連歌して、只獨り歸りけるに、小川のむたふて、音よ聞きしねおまたあやまたす、足許へ不圖よりきて、やがて抓付くまゝに、頸の程を喰むとす、氣も心も失せて、禦がんとするよ力もおく、足も立たず、小川へ轉び入りて、たまけよやねおまたよや猫またとさけべむ、此とたりふ見知る僧なり、この如何あとして、川の中より抱き起したむば、連歌の賭物とりて、扇小箱おと、懷よ持ちたりけるも水にいりぬ、稀有にして扶ありたる様よ

擔當總務局輪轉機。

新聞單純遊戲組織。

新撰高等小學讀本

育英舍編纂

卷六

二

工

コ

ヨ

新撰高等小學讀本
第六學年用下

年
ド
水

テ
ヲ
ケ

新撰高等小學讀本

育英舍編纂

卷六

尋常
小學

國語書

方手本
第一學年用

尋常
小學

國語書

方手本
第四學年用下

尋常

小學

國語書

方手本
第六學年用下